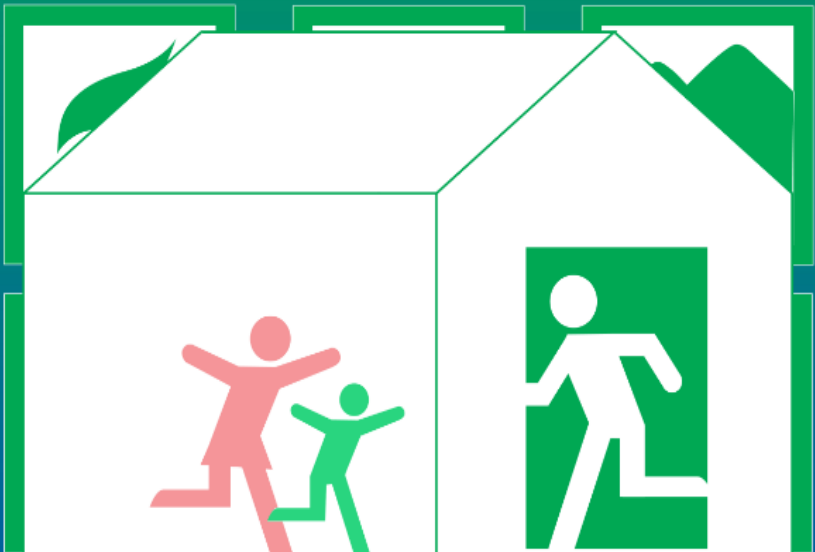


防災マニュアル



P A S O N A

禅坊靖寧



防災マニュアルについて 3

平時の備え

災害時対応方針	4
緊急連絡先の確認	4
避難について	5
防災訓練について	5
防災備蓄、設備について	5

災害発生時の初動対応

震災発生時	6
帰宅困難者への対応	7
台風・集中豪雨	9
テロ（爆破予告等）発生時	13

目的

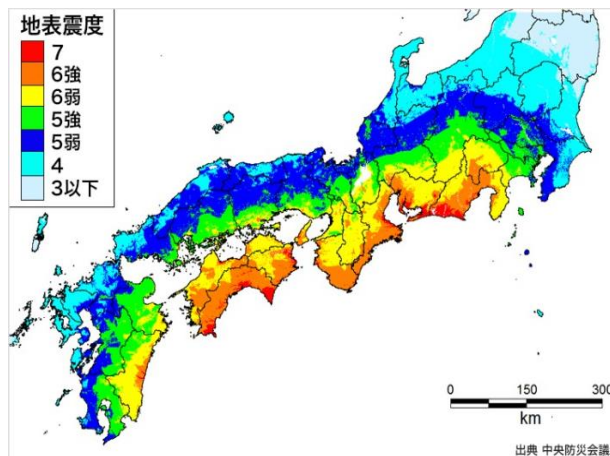
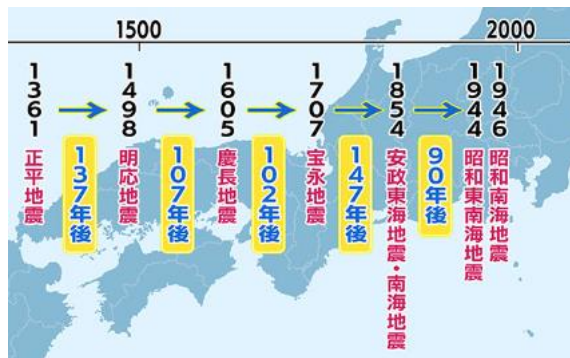
本マニュアルは、大規模地震・台風などの自然災害、火災、テロなどのリスクに関して、**当施設における確認事項を定め、リスクの予防・回避および災害発生時の安全確保ならびに被害の抑制・軽減、二次災害防止を目的**としています。

各社・各部における責任者は、**必要な情報を確認し、メンバーの皆さんと必ず共有するようにしてください。**

本マニュアルをバインダー等に綴じて、誰しもがいつでも閲覧できるように設置し、内容に変更があった場合は、随時更新してください。いざというときに冷静に対応できるように、日ごろから準備をしておくことが大切です。

南海トラフ地震について

日本列島の南にある南海トラフ。この南海トラフで、巨大地震が起きる確率は今後30年以内に70から80パーセントとみられています。



被災直後の被害想定			
電力	2710万軒が停電	空港	中部国際・関西国際など5か所で浸水被害
通信	携帯電話 大部分が通話困難 固定電話 930万回線が不通	鉄道	東海道・山陽新幹線の全線が不通 主な被災地中心に在来線も不通
水道	3440万人が断水	道路	高速道路など寸断 東名・新東名高速道は通行止め

◆ 全災害共通の発生時初動対応について

大規模災害が発生した場合、次の順に考え、行動する。

1. 自分自身の安全を確保する

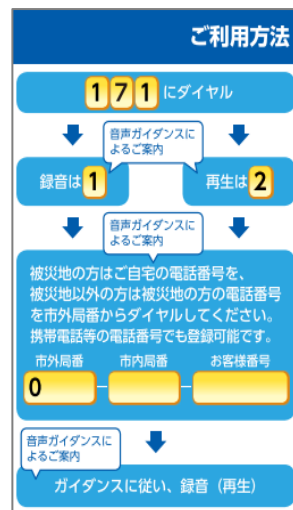
- 慌てず冷静な行動を心掛ける
- 怪我などが生じた場合は、治療を最優先とする
- 可能な限り速やかに上司に連絡し、状況報告する

2. 家族・親族の安否を確認する

- 家族・親族の安否確認、安全確保のために、集合場所、連絡先、災害伝言サービスの使い方を確認、共有しておく

★災害用伝言サービス

災害の発生により、被災地への通信が増加しつながりにくい状況になった場合に提供が開始される



3. 会社（拠点・部門）の状況を確認する

- 安否確認、緊急連絡が迅速かつ確実に行えるよう、部門の緊急連絡網について確認しておく

★セコム安否確認システム

災害発生時の社員と会社との連絡手段、災害発生時の通知、安否確認メールの斉送信、安否・現地状況の報告



◆ 状況別の災害発生時対応について

大規模災害が発生した際、自分の置かれている状況に合わせて以下の手順で対応する。但し、この順序に沿うことが必ずしも正しいというわけではなく、有事の際には臨機応変な対応が求められることを念頭に行動すること。

A. 事業所内で勤務中

- 1. 自身の安全確保
- 2. チームメンバーの安否確認、安全確保、一時避難
- 3. 災害情報の収集、被害状況の確認
 - 3-1. 被害状況に応じて必要であれば事業所外へ避難
 - 事業所が安全な場合は、その場に留まり避難
- 4. チーム長、ユニット長または責任者へ安否の報告
- 5. 家族の安否確認、連絡

B. 事業所以外で勤務中

- 1. 自身の安全確保
- 2. チーム長、ユニット長または責任者に自身の安否、所在場所・被災状況の報告
- 3. 災害情報の収集、被害状況の確認
 - 3-1. 被害状況に応じて必要であれば他の場所に避難
 - 今いる場所が安全な場合は、その場に留まり避難
- 4. 家族の安否確認、連絡

C. 夜間・休日

- 1. 自身の安全確保・避難
- 2. チーム長、ユニット長または責任者に自身の安否、所在場所・被災状況の報告
- 3. 災害情報の収集、被害状況の確認
 - 3-1. 被害状況に応じて必要であれば他の場所へ避難
 - 今の場所が安全な場合は、その場に留まり避難
- 4. 家族の安否確認・連絡

D. 通勤・帰宅途中

- 1. 自身の安全確保、避難
- 2. 災害情報の収集・被害状況の確認
- 3. チーム長、ユニット長または責任者に自身の安否、所在場所・被災状況の報告
- 4. 危険な状態がおさまるまで、安全な場所からむやみに動かない。
(自宅にいる、または自宅に近ければ自宅の安全なところで待機)
- 5. 家族の安否確認、連絡
- 6. 交通機関が途絶され帰宅困難になった場合、至近の安全な場所に身を寄せる。(職場に近ければ職場に、コンビニやガソリンスタンド、公共施設に行く)

◆ 災害・緊急時の連絡先

緊急時の安否確認、連絡が迅速かつ確実にできるよう、**ケースに合わせた連絡先を確認しておきましょう**。また、災害用伝言サービスの使い方も確認しておきましょう。メールや電話が繋がりにくい時の代替手段を講じておくことも必要です。

アドミ本部_災害が起きたらのページに掲載されている**「緊急時対応ポケットマニュアル」に連絡先をまとめておく**と、有事の際に連絡すべき先に迷わず便利です。

「緊急時対応ポケットマニュアル」掲載ページはこちら▶



災害発生時の連絡順序と連絡先一覧

⚠ 災害発生 ⚠

1. 自分の身の安全を一番に確保し、安否を報告する

SECOM安否システム

社用携帯内アプリで回答

▼ 身体が安全でない場合

▼ 建物が安全でない場合

2. 命に係わる場合は 119/市役所に連絡

消防

119

淡路市役所
危機管理課

0799-64-2555
※119が繋がらない場合

3. 建物に不具合がある場合は アドミ本部に連絡

アドミ本部 グループアドミ部
オペレーション室 特命担当部長

下村卓爾

080-8345-7168

アドミ本部 グループアドミ部
オペレーション室 ファシリティマネジメン
トチーム チーム長

千束正宗

070-4351-3065

災害時・緊急時の情報収集ツール

No.	連絡先／名前	用途	電話番号／URL	備考
1	警察	警察	局番なし「110」 淡路警察署： 0799-72-0110	
2	広域災害救急 医療情報システム	医療的な 対応方法等	https://www.wds.emis.go.jp/	応急手当や対処方法、全国の救急センターも掲載
3	災害注意報、警報 防災気象情報センター	注意報 警報情報	https://tenki.jp/bo-usai/warn/	全国の注意報、警報が 随時更新
4	NTT災害用伝言ダイヤル	災害時伝言 ツール	局番なし「171」	録音の場合「1」 再生の場合「2」
5	ひょうご防災ネット	災害情報 全般	https://bosai.net/index	気象の注意情報や警報、 各災害避難情報等、 防災情報を発信
6	防災情報メール		touroku@osakabo-usai.net に空メール送信で登録	気象の注意情報や警報、 避難情報等、災害情報を 受信

オフィスビルの設備・警備（ビル管理会社）等の連絡先

No.	役割	管理会社/氏名	電話番号
1	設備員駐在時間：		
2	警備員駐在時間：		
3	※上記時間以外（無人の時間帯） 機械式駐車場		
4	※上記時間以外（無人の時間帯） 機械警備・設備故障・その他緊急時		
5			

自衛消防隊

災害等発生時は、大きく以下の5手に分かれて対応が必要となります。災害発生時に居合わせたメンバーで手分けをして速やかに対応できるよう、各役割に応じて「何をするのか」を明確にしておきましょう。

役割	氏名	火災	地震	風水害
防火管理者	佐橋 妙空	災害時の全般責任者		
通報連絡班		消防・救急への通報連絡		
初期消火班		消火活動	消火活動 救出救護活動	救出救護活動
応急救護班		けが人の応急救護活動の実施		
避難誘導班		<ul style="list-style-type: none"> ・避難者の誘導を行う ・逃げ遅れがないか確認 ・負傷者の搬送 		

非常時の持ち出し品

各部門で、非常時に持ち出すべき物品の内容、保管場所を予め確認しておきましょう

【物品例】

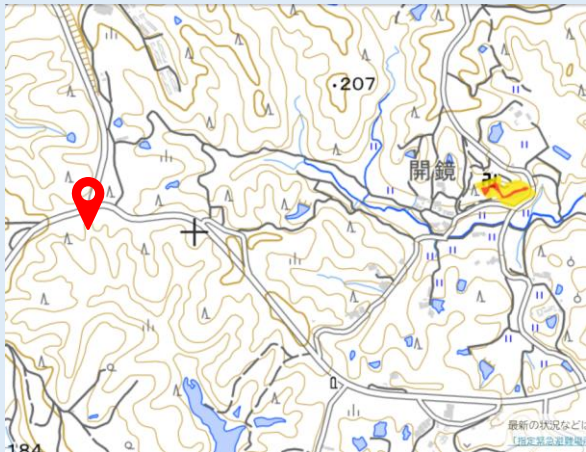
- ・株主総会議事録、取締役会議事録
- ・その他法定備置書類
- ・重要契約書
- ・現金（手提げ金庫）、小切手、切手
- ・その他有価証券

◆ 避難について

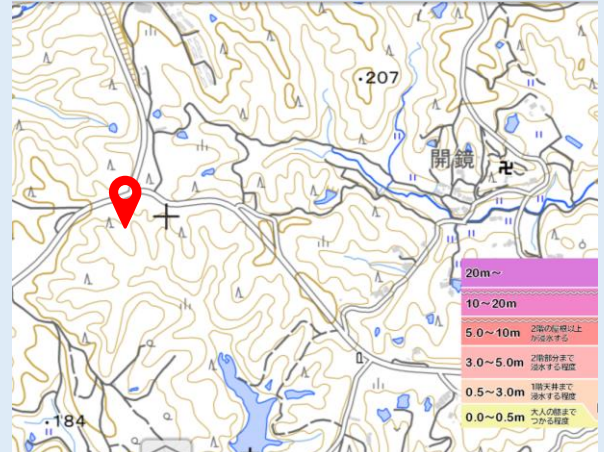
当施設は、行政のハザードマップでは風水害、津波共に特別警戒区域に指定されていません。従って、移動がリスクになる場合もあるため、直ちに下記の避難場所へは移動せず、事務所および屋上への避難が有効です。常日頃から避難場所を確認しておくとともに、避難訓練等で避難経路や避難時間を実際に確認しておきましょう。

被害想定区域

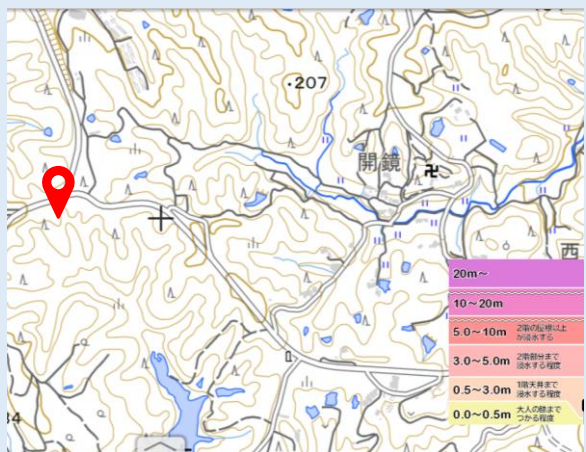
【土砂災害警戒区域】



【津波浸水想定区域】



【高潮浸水想定区域】



災害被害想定や
避難場所を、
ハザードマップで
確認しておきましょう

(参考)
国土地理院
「重ねるハザードマップ」 ▶



ケース別の避難先について

状況	避難先
風水害の場合	建物内待機／グローバルハブスクエア
地震の場合	建物内待機／グローバルハブスクエア

緊急指定避難所

以下が市指定の緊急指定避難所です。災害時の状況に応じて、自分のいる建物・環境に不安がある場合は、指定避難所への移動を検討しましょう。

状況	建物名称
一時避難所	建物内待機、危険ならグローバルハブスクエアに避難
市の指定避難所	—

避難場所までの避難経路図



地震発生時の動き

地震の強い揺れを感じたり、緊急地震速報を受信した場合は、**自身の安全確保を最優先に行動して下さい**。事務所にいる場合はキャビネットやロッカーなどから離れ、頭部を守り、机の下に隠れるなど身を守りましょう。また通話中の場合も安全を最優先して下さい。（電話が切電となっても構いません。可能であればお客様に「ただいまこちらで緊急地震速報を受信しました。このまま少しお待ちいただけますか」等お伝え下さい。）

揺れが落ち着いても余震の危険があるため油断せず、責任者に状況を報告後、指示に従いできるだけ冷静に行動して下さい。

地震・津波発生時の行動

地震発生時には、あわてずに、まず身の安全を確保しましょう。海岸付近で強い揺れを感じた場合は、すぐに津波が来襲することがありますので、津波警報や津波注意報の発表を待たず、ただちに高台などに避難してください。

地震発生！ 津波発生！

1 地震の揺れから身を守る

- 落ち着いて、自分の身を守る。
- 火の始末、ガスの元栓を閉める。
- ドアや窓を開けて、出口を確保する。



2 津波警報を待たずに、ただちに避難する

- 揺れがおさまったら、津波のおそれがある区域に居る人は、ただちに避難する。
- 「より遠く」ではなく「より高い場所」へ避難する。
- ぐずれたブロック塀や散乱したガラスなどに注意。
- できる範囲で、地域の避難行動要支援者の手助けを。

避難が間に合わないときは
近くの津波避難ビルへ！



3 津波情報を入手する

- 安全な場所に移動してから、防災無線やラジオなどで情報を確認する。
- 間違った情報や、うわさ、デマなどに惑わされないように注意する。
- 安全が確認されるまで、自宅・沿岸部には戻らない。

（東日本大震災の際、一旦避難場所に避難していながら、自宅等に戻ったところで被災したというケースもあります。）

情報の収集は
安全な場所に移動してから



4 避難施設や自宅へ移動する

- 津波警報が解除されたら、一時避難した場所から、避難施設などに移動し、家族と合流する。
- 避難生活では、集団生活のルールを守り、助け合いの心を持つ。



震度と揺れ等の状況（概要）

0 **【震度0】**
人は揺れを感じない。

1 **【震度1】**
屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。

2 **【震度2】**
屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。

3 **【震度3】**
屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。

4 **【震度4】**

- ほとんどの人が驚く。
- 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
- 座りの悪い置物が、倒れることがある。

6弱 **【震度6弱】**

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

耐震性が高い 耐震性が低い

5弱 **【震度5弱】**

- 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- 棚にある食器類や本が落ちることがある。
- 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

6強 **【震度6強】**

- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

耐震性が高い 耐震性が低い

5強 **【震度5強】**

- 物につかまらなさと歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本で落ちるものが増える。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

7 **【震度7】**

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに増える。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

耐震性が高い 耐震性が低い

スムーズな避難への備え

大きなケガをしたり逃げ道を塞がれないよう、備えにより建物内の安全性を高めておきましょう。



■収納に工夫を

- タンスや本棚などにものを入れる場合は、重いものは下に、軽いものは上に収納するようにします。
- 本棚は隙間をブックエンドで固定するなど、なるべく空間を作らないようにしましょう。

■耐震金具を利用しよう



◎転倒防止金具

壁・柱・鴨居と家具を固定するタイプと、床などに固定するタイプがあります。家具や室内の状況によって使い分けましょう。



■ガラスの飛散防止を

- 割れたガラスが飛び散るのを防ぐため、ガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。



◎重ね留め用金具

重ねた上下の家具を固定し、上の家具の落下を防ぎます。

大雨・洪水に関する注意報・警報について

気象庁から、下記のような場合に「注意報」「警報」が発表されます。さらに、警報の発表基準をはるかに超える豪雨等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、「特別警報」を発表し、最大限の警戒を呼び掛けます。「注意報」「警報」「特別警報」は関係行政機関、都道府県や市町村へ伝達され防災活動等に利用されるほか、市町村や報道機関を通じて地域住民のみなさんへ伝えられます。

大雨・洪水注意報	大雨・洪水警報	大雨特別警報
災害が発生するおそれがある	重大な災害が発生するおそれがある	「警報」よりもはるかに高い危険度
大雨 大雨により、浸水災害や土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表。 洪水 大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。	大雨 大雨により、重大な浸水災害や重大な土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表。 洪水 大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。	大雨 台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨になると予想したときに発表。 <small>「洪水」は、全国約400の河川において指定河川洪水予報を発表しているため、特別警報の設定はありません。</small>

「特別警報」が発表されない場合でも、甚大な被害が発生する可能性があります

- 大雨などのときには、テレビやラジオなどで最新の注意報・警報・特別警報の発表状況を確認するようにしましょう。また、NTTテレホンサービス「177」や気象庁ホームページ(<http://www.jma.go.jp/>)でも確認できます。
- 淡路市に注意報・警報が発表される際の雨量基準値などについては、気象庁ホームページで知ることができます。

避難情報を入手して早めの行動を

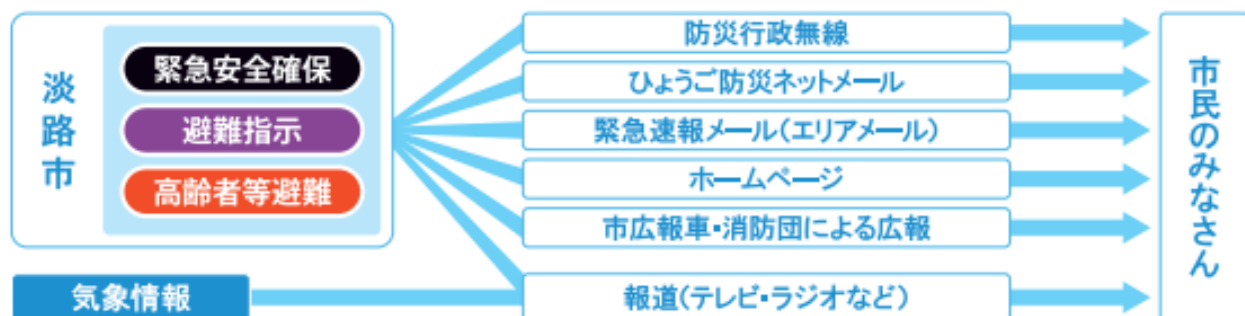
避難情報は、災害の状況に応じて3段階に分けて発令します。どの情報かを確認し、適切な行動をとってください。

警戒レベル	状況	避難行動等	避難情報等
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保 ^{※1} 市が発令
----- 警戒レベル4までに必ず避難! -----			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示 市が発令
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難 ^{※2}	高齢者等避難 市が発令
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報 気象庁が発表
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 気象庁が発表

※1 災害の状況を実際に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。

※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

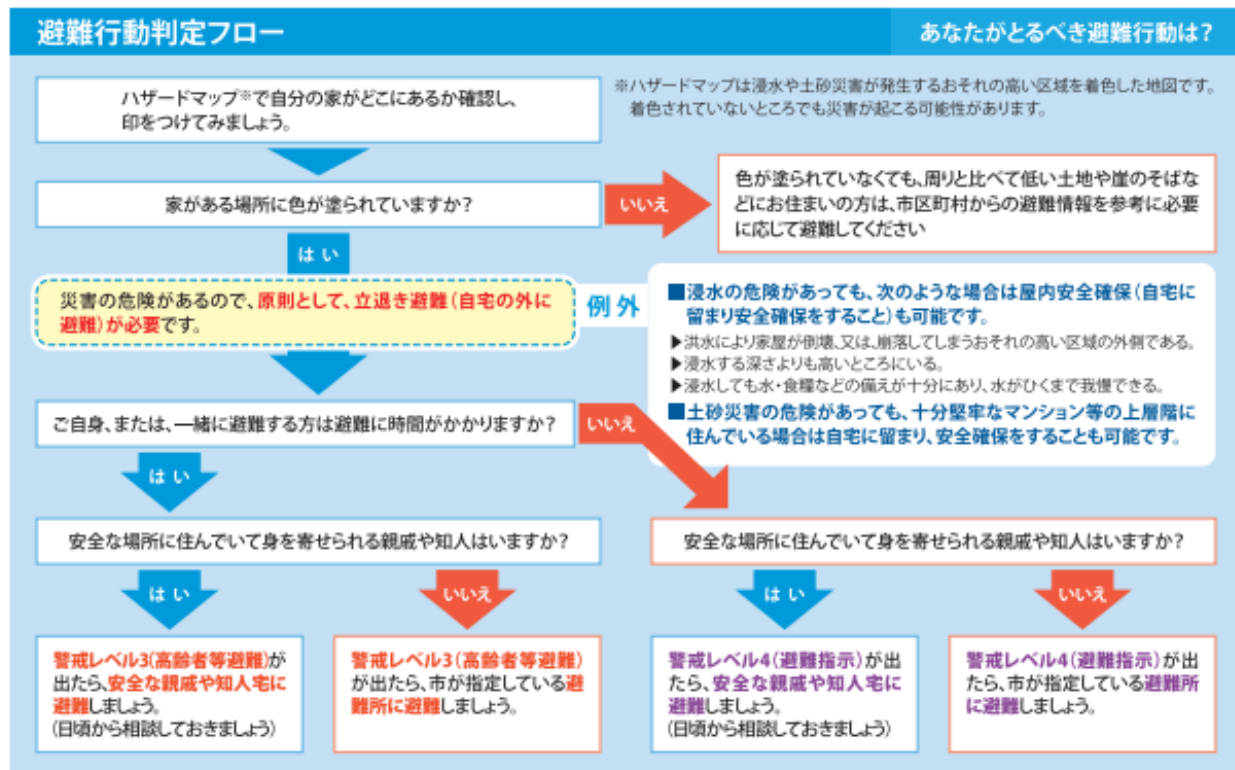
●情報伝達の流れ



平時に
確認

避難行動判定フローを確認しましょう




「避難行動判定フロー」を「ハザードマップ」とあわせて確認し、居住する地域の災害リスクや住宅の条件等を考慮したうえでとるべき避難行動や適切な避難先を確認しておきましょう。



避難行動(立退き避難・屋内安全確保と緊急安全確保)

水害や土砂災害の避難行動は、ためらわず災害リスクのない安全な場所へ早めに「立退き避難」することが基本です。また、浸水しない自宅の上階への避難や上層階に留まる「屋内安全確保」により身の安全を確保することも有効です。

立退き避難を行う必要があるにもかかわらず、適切なタイミングで避難することができなかった場合などは、少しでも浸水しにくい高い場所やがけから離れた場所に避難し、身の安全を可能な限り確保する「緊急安全確保」を行ってください。

計画的な避難行動		緊急的な避難行動
<p>立退き避難</p>  <p>● 避難行動の基本です。</p>	<p>屋内安全確保</p>  <p>← 想定浸水高さ</p> <p>● 長時間の孤立に備え、水、食料などを備蓄しておきましょう。</p>	<p>緊急安全確保</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 逃げ遅れた場合の行動です。 ● 身の安全を確保できるとは限りません。

大規模災害に備え、各社内やビル・テナント等で確保できている非常用備蓄の内を確認しておきましょう。（従事人数×3日分が目安です）
また、ビル・テナント等の防火・防災設備、設置場所を確認しましょう。

防災備蓄管理システム「Kuranosuke」

「Kuranosuke」は、各施設の備蓄品管理をしているシステムです。
QRコードまたは、下記URLよりログインし、ご自身の拠点の備蓄品を確認しましょう。



【 URL 】
<https://l.kuranosuke.jp/pasonagroup/p/index.html>

【 閲覧用ユーザーID、パスワード 】
・ユーザーID : Pasonagroup005
・パスワード : dRW|/awU3tsZ

※「|」はバーティカルバーです

■「Kuranosuke」利用方法

防災備蓄品管理システム[備蓄状況]

形式 の状態を表示 管理区分

表示 正常 情報 注意 警告 警報

保管場所グループ 備蓄分類

ID	保管拠点	設定人数	最終確認日	防災備蓄品	感染症対策
				1ケース	1ケース
---	すべて		26	429,515	147,443
2	パソナグループ		26	331,128	131,396
1	パソナ	0	2022/06/30	62,747	2,520
31	パソナ01	0	2022/06/30	35,640	13,527

1 保管拠点を選択

防災備蓄品管理システム[保管場所別備蓄品状況]

保管場所グループ 備蓄分類

0012 パソナ 防災倉庫 - 緊急避難所(風害) - 所在地 東京都千代田区大手町2-6-2 担当者 関田
長期遊覧 - 緊急避難所(水害) - 連絡先 03-6734-0222 担当者連絡先 080-4088-8945
すべて 防災倉庫 - 緊急避難所(風害) - 所在地 - 担当者 -
担当者連絡先 -

2 保管場所グループで、拠点を選択

画像イメージを表示 正常 期限切れ 期限切れ間近

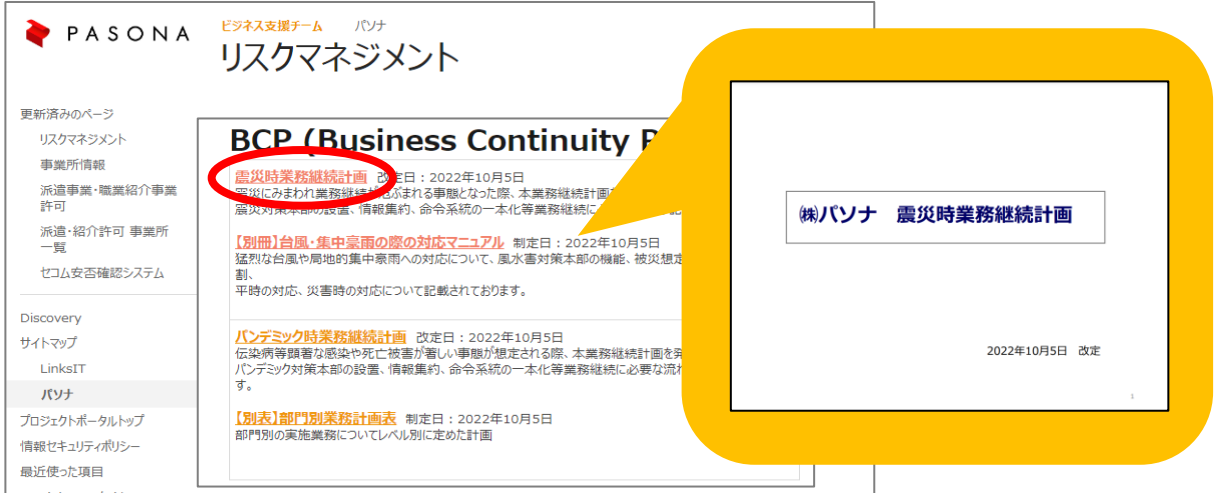
保管場所	分類	コード	品名	有効期限	最終確認日	期限切れ 予定数量	期限切 れ数量
パソナ>東海(名駅)>JRセントラルタワーズ(名駅)	防災備蓄品	1105	簡易トイレ(マイルット)	2025/01/31	2021/02/05	確認	0
パソナ>東海(名駅)>JRセントラル	防災備蓄品	1105	簡易トイレ(マイルット)	2025/01/31	2021/02/05	確認	0

棚卸 印刷 表示更

台風等による気象災害の発生が予想される場合は、責任者は気象情報・交通機関・道路の情報収集を適宜行い、協議の上、安全に考慮したうえで、出退勤を指示して下さい。

震災発生時の対応マニュアル

Discovery> パソナ > 営業統括本部 > 営業推進室 > ビジネス支援チーム > リスクマネジメント > BCP



震災発生時の時系列対応

発生<1週間

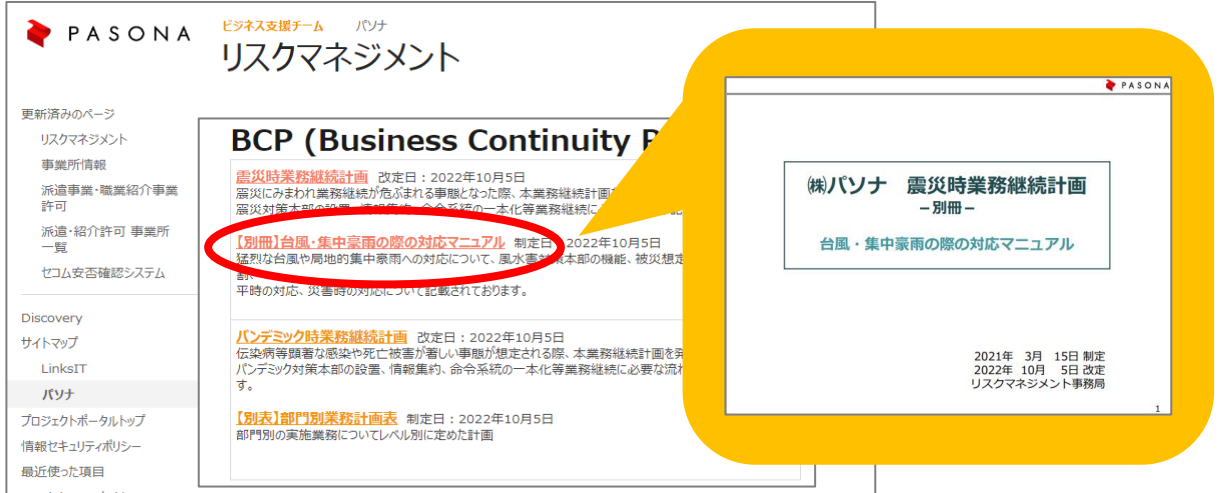
重点初動対応

<p>① 従業員・来訪者の避難誘導 PGアドミ本部 スタッフHR本部 キャリアアセット事業本部 キャリアアドバンテージ事業本部</p>	<p>② 従業員の安否確認 HR本部、営業統括本部、各事業本部</p>
<p>③ 社屋・什物の破損状況の確認 PGアドミ本部</p>	<p>④ 情報ネットワークの状況確認 IT統括本部</p>
<p>⑤ 派遣スタッフ・業務限定契約社員等の安否確認 営業統括本部、PMO室</p>	<p>⑥ クライアントの被災状況の確認・情報収集 各事業本部</p>
<p>⑦ 従業員・来訪者の帰宅困難者の対応 PGアドミ本部、営業統括本部、各事業本部</p>	<p>⑧ 破損した社屋・什物の復旧 PGアドミ本部</p>
<p>⑨ 情報ネットワークの復旧 重要データの保全 IT統括本部</p>	<p>⑩ 派遣スタッフ・業務限定契約社員等の労務管理継続 セールスサポート・オペレーション本部</p>
<p>⑪ 各支店の営業継続もしくは一時閉鎖の判断 各事業本部</p>	<p>⑫ 運転資金の確保・復旧対策資金の確保 ・早期の月次・年次決算体制の復旧 財務経理部</p>
<p>⑬ イベント・登録会・セミナー等の中止の連絡 エキスパート・BPO事業本部 エクスパートHR本部 キャリアアセット事業本部 キャリアアドバンテージ事業本部</p>	<p>※枠内記載は主幹部署 ※株式会社パソナグループは「PG」とする。</p>

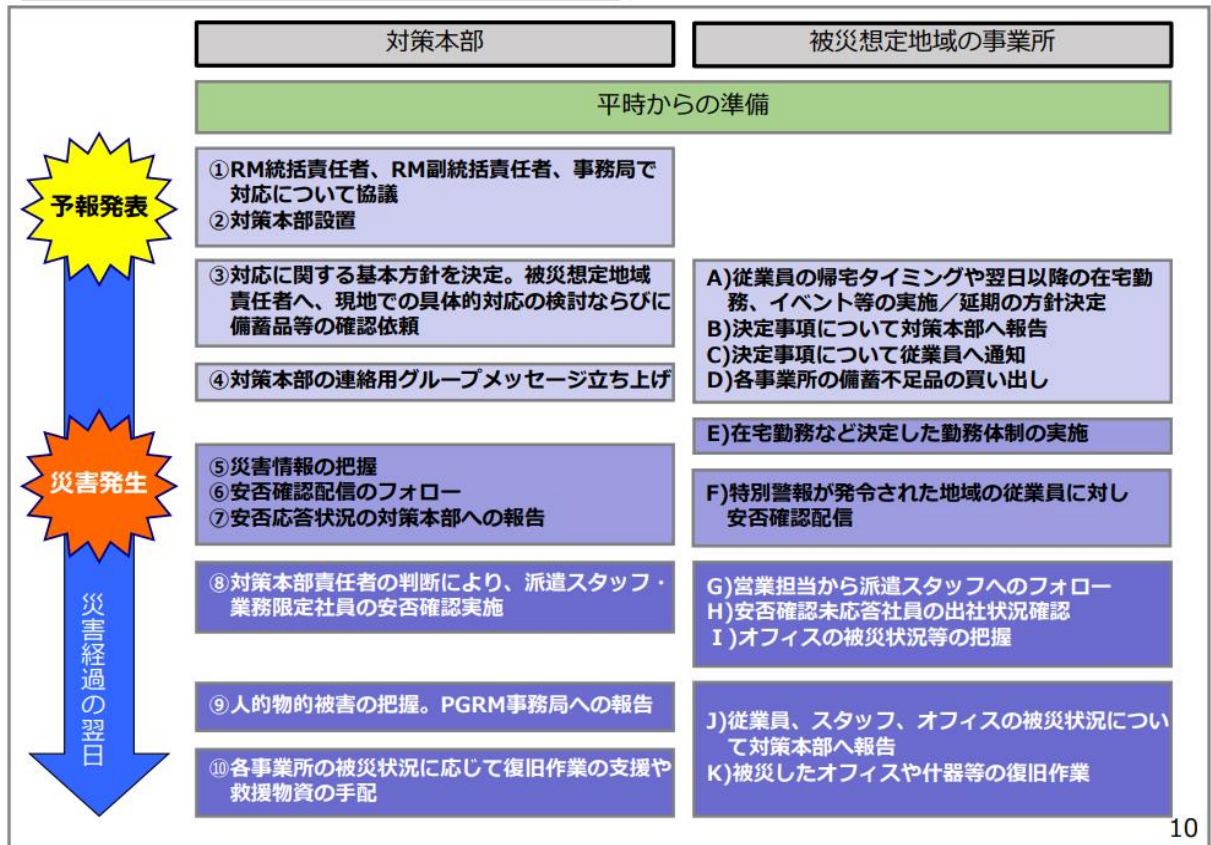
台風等による気象災害の発生が予想される場合は、責任者は気象情報・交通機関・道路の情報収集を適宜行い、協議の上、安全に考慮したうえで、出退勤を指示して下さい。

台風・集中豪雨の際の対応マニュアル

Discovery > パソナ > 営業統括本部 > 営業推進室 > ビジネス支援チーム > リスクマネジメント > BCP



台風・集中豪雨への時系列対応



いたずらや嫌がらせの可能性が考えられる場合であっても、最悪の事態を想定しメンバーの安全を最優先に対応して下さい。またビル担当者や警察と緊密に連携し、迅速・的確に対応して下さい。不審者や不審物（郵便物）を発見するなど異常を察知した場合は、速やかに責任者に報告して下さい。

危機管理マニュアル

Discovery>パソナ>営業統括本部>営業推進室>ビジネス支援チーム>リスクマネジメント>リスクマネジメント関連文書

The screenshot shows the PASONA Risk Management portal. The main heading is 'リスクマネジメント' (Risk Management). Under 'リスクマネジメント関連文書' (Risk Management Related Documents), three documents are listed:

- リスクマネジメント規程** (Risk Management Regulations): Updated 2021.12.1
- 危機管理マニュアル** (Crisis Management Manual): Updated 2022.10.5. This document is circled in red.
- 危機管理マニュアル【別表】担当部実施事項** (Crisis Management Manual [Annex] Department Implementation Items): Updated 2022.10.5.

Below these, two more documents are listed:

- 危機管理マニュアル【別冊】緊急事態対応の手引き** (Crisis Management Manual [Separate Volume] Emergency Response Procedures): Updated 2022.11.18. This document is also circled in red.
- 緊急事態対応** (Emergency Response): Updated 2022.11.18.

On the right side of the screenshot, a yellow callout box contains images of the '危機管理マニュアル' (Crisis Management Manual) and '緊急事態対応' (Emergency Response) documents.

社内報告ルート

